

令和 2 年度学校評価 保護者アンケートの結果（評価点）

◆評価点は、A（そう思う）・B（どちらかと言えばそう思う）・C（どちらかというと思わない）・D（思わない）をそれぞれ4点・3点・2点・2点・1点に換算し、その平均を表しています。当校では、評価点が3.5点以上になるよう努めています。

【主に運営活動に関する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標・方針	①グランドデザインにある教育目標や、学部の目標は、子供の実態や保護者の願いに合ったものである。	77 人	45 人	1 人	0 人	123 人	3.62
お子さんの様子	②お子さんは楽しく（充実した）学校生活を送っている。	85 人	38 人	0 人	0 人	123 人	3.69
	③お子さんを本校に入学させて良かった。	103 人	21 人	0 人	0 人	124 人	3.83
校内連携・一貫性	④学校は、一人一人の将来の生活や小中高のつながりを意識して、適切な目標を立てたり、必要な学習を行ったりしている。	84 人	36 人	2 人	2 人	124 人	3.63
	⑤学年間や学部間、学校・寄宿舍間で情報が共有され、連続性や一貫性のある指導が行われている。	71 人	48 人	1 人	4 人	124 人	3.50
専門性向上	⑥職員は、お子さんの障害について理解し、その特性をふまえた適切な指導や支援に努めている。	87 人	33 人	2 人	0 人	122 人	3.70
地域・外部関係機関との連携	⑦各種たよりや授業・行事参観などにより、学校の取組や子供の様子がよく分かる。	82 人	36 人	5 人	1 人	124 人	3.60
	⑧学校は、特別支援教育や当校児童生徒への地域の理解を深めるため、広報活動や交流活動等を積極的に行っている。	64 人	52 人	7 人	0 人	123 人	3.46
	⑨職員は、保護者や地域に対して誠意をもって対応している。	82 人	42 人	0 人	0 人	124 人	3.66
施設・設備	⑩学校の施設や設備などの教育環境は、よく整えられている。	60 人	49 人	11 人	2 人	122 人	3.37
いじめ対応	⑪学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	75 人	47 人	0 人	0 人	122 人	3.61

【小学部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標 1	身近な人に挨拶をしたり、自分の気持ちを伝えたりする力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①場に応じた挨拶ができるようにするための働きかけや支援の工夫を行った。	39 人	4 人	0 人	0 人	43 人	3.91
	②感謝や依頼など、自分の気持ちを伝えたり、友達とやりとりしたりする場を意図的に設けて指導した。	38 人	5 人	0 人	0 人	43 人	3.88
目標 2	日常生活に必要な基本的な生活習慣や生活動作を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	③食事や排泄、衣服の着脱などの技能を高めるための支援を工夫した。	37 人	6 人	0 人	0 人	43 人	3.86
	④学習や給食などの準備や片付けの場面を、意図的に設けて指導した。	37 人	6 人	0 人	0 人	43 人	3.86
	⑤掃除や整理整頓の技能を身に付けるための支援を工夫した。	38 人	5 人	0 人	0 人	43 人	3.88
目標 3	自分の仕事に分かり、進んで取り組む力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑥児童一人一人の仕事を明確にし、その内容や方法を理解できるようにするための支援を工夫した。	36 人	7 人	0 人	0 人	43 人	3.84
	⑦自己有用感を高めるための評価・称賛を工夫した。	38 人	5 人	0 人	0 人	43 人	3.88

【中学部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標 1	集団生活で必要とされるルールやマナー、コミュニケーションスキルを身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①挨拶や年齢に応じた人との関わり方を学ぶ場を計画的に設定した。	26 人	2 人	0 人	0 人	28 人	3.93
	②話の聞き方や意思表示の仕方、依頼や報告の仕方を段階的に指導した。	26 人	2 人	0 人	0 人	28 人	3.93
	③時間やルールを意識できるようにするための視覚支援や指導場面を工夫した。	24 人	4 人	0 人	0 人	28 人	3.86
目標 2	日常生活を営み社会参加を目指すための基礎となる知識や技能を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	④身辺処理や身だしなみ、整理整頓に関する的確な実態把握と、それに基づく日常的な指導を行った。	24 人	4 人	0 人	0 人	28 人	3.86
	⑤買い物や交通機関、各種施設の利用等に関する技能を体験的に学ぶ場を設定し、段階的に指導した。	23 人	5 人	0 人	0 人	28 人	3.82
目標 3	自分の役割を自覚し、責任をもって仕事をやり遂げる力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑥社会自立に向けた進路学習や様々な場面での役割を設定した。	22 人	6 人	0 人	0 人	28 人	3.79
	⑦見通しがもてるようにするための視覚支援や、自分が役に立っていることを実感できような振り返りの場を工夫した。	24 人	4 人	0 人	0 人	28 人	3.86

【高等部に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標 1	社会におけるルール・マナー、コミュニケーションスキルを身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①A・Bコース:職員は、集団生活に必要なルール・マナーやコミュニケーションスキルを、体験を通して計画的に学ぶ場を設定し、繰り返し指導している。	23 人	22 人	0 人	0 人	45 人	3.51
	②Cコース:職員は、様々な場面を想定したルール・マナーやコミュニケーションの実践的な指導を、授業や日常生活の指導の中で行っている。	7 人	5 人	0 人	0 人	12 人	3.58
目標 2	地域の中で生活できる力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	③A・Bコース:職員は、個の課題に則した、具体物を用いての文字や言葉、数や形の指導を行っている。	20 人	20 人	3 人	2 人	45 人	3.29
	④Cコース:職員は、読み・書き・計算、一般常識の指導において、実社会とのつながりを考慮した場の設定や、教材・教具の工夫を行った。	6 人	5 人	0 人	0 人	11 人	3.55
	⑤A・Bコース:職員は、日常生活の中で実践できるようにするため、衣・食・住に関する基本的な内容を繰り返し指導している。	21 人	23 人	0 人	1 人	45 人	3.42
	⑥Cコース:職員は、衣・食・住に関する実践的な力を身に付けるための学習活動の工夫をしている。	8 人	4 人	0 人	0 人	12 人	3.67
目標 3	やりがいをもって、働き続ける力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑦すべてのコース:職員は、お子さん自身が課題を意識できる目標設定を行っている。	28 人	23 人	2 人	0 人	53 人	3.49
	⑧A・Bコース:職員は、成果が分かりやすく、限られた時間内で仕事を続けられるような作業内容や支援の工夫を行っている。	18 人	27 人	1 人	1 人	47 人	3.32
	⑨Cコース:職員は、やりがいを実感できる場の設定や活動内容と評価の工夫を行っている。	6 人	5 人	0 人	0 人	11 人	3.55

【寄宿舎に対する評価】

	評価項目	A(4点)	B(3点)	C(2点)	D(1点)	回答合計	評価点
目標 1	集団におけるルールやマナーを身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	①挨拶の場を明確にし、繰り返し指導した。	45 人	16 人	0 人	1 人	62 人	3.69
	②人と話すときの適切な距離や言葉遣いに関して機会を捉えて指導した。	44 人	17 人	0 人	0 人	61 人	3.72
	③共同生活におけるマナーや身だしなみの定着に向けて支援した。	47 人	14 人	0 人	0 人	61 人	3.77
目標 2	将来の生活に必要な技能を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	④起床、洗面、着脱、食事、排泄、入浴、就寝等の個々の課題に応じた指導方法を工夫した。	44 人	16 人	0 人	0 人	60 人	3.73
目標 3	健康で規則正しい生活を送る力を身に付けることができた。						
目標達成に向けた取組	⑤規則正しい生活の習慣化に向けた支援の工夫と保護者との連携を行った。	49 人	12 人	0 人	0 人	61 人	3.80
	⑥一人一人の余暇活動の幅を広げたり深めたりするための活動を提示した。	42 人	18 人	0 人	0 人	60 人	3.70
	⑦運動する場を設定した。	36 人	20 人	3 人	1 人	60 人	3.52

評価点が目標に達しなかった項目について、職員間で改善方法を考え、できるところから始めております。次年度も継続して実践できるよう、引継ぎを丁寧に行ってまいります。

今年度は、感染症対応のため、学校や寄宿舎に足をお運びいただく機会が少なくなっていました。今後の状況も不透明ではありますが、県教育委員会の指導を受けながら、可能な限り、皆様に学校の教育活動を御参観いただく機会を設けてまいります。御多用のことと存じますが、お子さんの活躍する姿や教職員の指導、支援の様子を御覧ください。そして、お気づきの点がございましたら随時お話をお聞かせくださいますよう、お願い申し上げます。

